

# 学校支援本部ってなんだろう新聞

## 第一号

平成24年7月10日発行

発行：杉並区学校支援本部運営委員会「制度周知・育成部会」

(事務局)杉並区教育委員会事務局学校支援課

杉並区阿佐谷南 1-15-1 TEL 3312 - 2111 (内) 1643 Eメール [gakko-sien@city.suginami.lg.jp](mailto:gakko-sien@city.suginami.lg.jp)

学校支援本部ってなんだろう新聞の発行にあたって

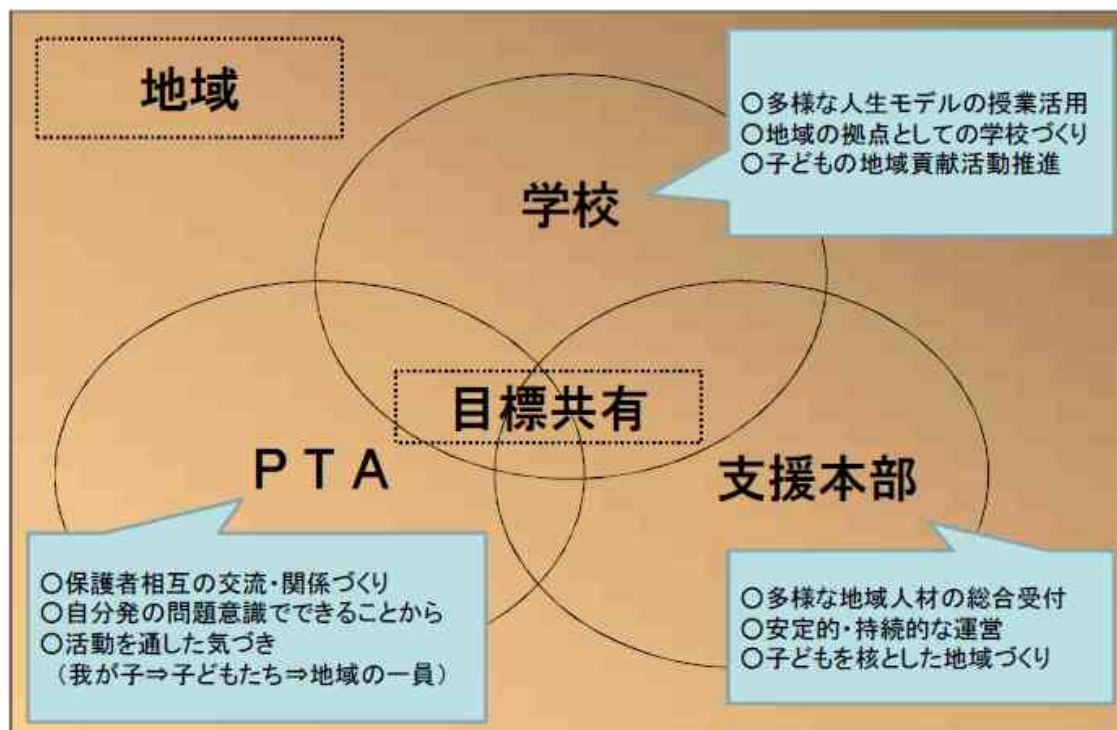
この新聞は、本部関係者のほか、教職員、PTA役員・委員を対象に発行していきます。増刷は大歓迎です。また、お読みいただいた皆様から寄せられる声をエネルギーとして、不定期発行していきます。ちょっとイイ話、困ったこと、提案など、どしどしお寄せください。

## 学校支援本部が 目指すもの

杉並区は学校教育に対する区民の方々の関心が高い地域です。これまでもさまざまな形で地域の皆様の協力を得て、学校運営や教育活動が活発に行われてきました。

学校支援本部は、こうした地域連携の取組をさらに発展させ、より組織的に学校支援を進めようとするものです。地域の志のある方々と保護者、学校が一緒になって、区立小・中学校の教育活動などを支援するために設置された、ボランティアによる新しいネットワーク型組織です。

杉並区教育委員会では、平成18年度から学校支援本部の取組への支援を全国に先駆けて開始し、平成22年度で区立小・中学校全校設置いたしました。次代を担う子どもたちを中心に、誰もが持ち味を活かし、共に学び共に支え共に創る杉並の教育を具体化していきます。



# 学校・保護者・学校支援本部の連携を！

## 各学校の工夫に学ぶ

学校もPTA(保護者)も学校支援本部(地域)も、子どものためを思って活動しているのですが、時に気持ちがすれ違ってしまふことがあります。

どこに向かって力を合わせていくのか、目標の共有とともに、それぞれの活動の特性を理解し役割分担すること、それぞれの組織ができることを自発的に  
行い連携の質を高めていくことが大事です。



### 【学校の工夫】

年度当初の職員会議で、本部関係者と教職員で顔合わせを行い、握手をする。  
新入生説明会で、本部のねらいと取組についてお話しし、協力依頼を含め理解してもらう。

本部とPTAは、学校を中心にスクラムを組み、子どもの成長を支える良き  
パートナー(23年度小学校PTA会長談) / 本部の方に感謝、PTAも協力  
できることはお手伝いするなど、連携が必要(23年度中学校PTA会長談)

### 【PTAの工夫】

総会のときや広報誌で、教職員紹介と合わせて本部関係者を紹介する。  
役員・委員が集まる運営委員会等で、本部関係者にもオブザーバー参加を依頼し、日常的に活動  
報告をしてもらう。

### 【学校支援本部の工夫】

子どもたちの教科書などを参考にしながら、地域人材の持ち味や企業提案事業が、どの単元と重  
なるかイメージしながら授業提案する。  
人材情報の提供や活動協力依頼、年間の活動計画や報告・予算等、学校やPTAの会合に積極的  
に出席させてもらい情報発信する。

### 【三者共通の工夫】

月一回程度会合を持ち、各取組のねらいや取組体制についての情報共有を心がけている。

## 学校支援本部キーワード 「地域コーディネーター」

このコーナーでは、学校支援本部でよく出てくるキーワードの解説などをしていきます。

今回は、本部の事務局で活躍する「地域コーディネーター」を取り上げました。

まず、コーディネーターとは何か、ということですが、教育に限らず、福祉やまちづくりの分野でも活躍している現代社会のキーパーソンです。お互いの特性を理解しながら普段出会わない人と人をつなぐ役割です。「地域のお仲人さん」という方もいるように、これまでも地域のなかで自然に機能していたものですが、社会の効率的・分業化が進む一方、協働や地域づくりなど総合力の重要性が認識されるなか、改めて注目されている役割です。本部では、学校と地域をつなぐ、本部内の各取組をつなぐ、本部と本部をつなぐ、といった場面で活躍しています。

今年度は、これまで以上に学校教育課程内の取組支援で力を発揮していただくため、教育委員会主催で「地域コーディネーター」研修会を開催、全体で161名の参加を得て進行中です。

